



2024年 6月 7日
第195号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実

編集情報担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



申29～ 「2024年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ」 37号（運輸区・統括センター・営業職場）を6月4日に行う！

2024年3月ダイヤ改正では、特急「成田エクスプレス」の利便性向上や「湘南」「踊り子」の所要時間短縮、また横浜線と根岸線との直通運転拡大など、混雑緩和や利便性向上が目指されています。鶴見線ではワンマン運転も開始されました。また今ダイヤ改正以降、「柔軟な短時間行路設定」として、輸送総合システムのリプレイス実施に伴い「短時間行路を必要な日に定期行路から切り出して設定できる機能」が追加され、乗務行路が大きく変化しました。

ダイヤ改正は労働条件の変化点として特に重要であり「安全・健康・ゆとり」ある労働環境が実現されなければなりません。従って、今ダイヤ改正の検証に基づく議論内容が次期ダイヤ改正に反映され、「安全・健康・働きやすさ」が実感できるものにするために、横浜支社に申し入れを行いました。

川崎運輸区分会

申29号として全8項目を申し入れ。乗務行路の改善、折返し間合い確保や中央線特急との接続を考慮した列車ダイヤの設定に関する事項など。

鶴見線営業所分会

申30号として全8項目を申し入れ。ワンマン運転に関わる課題や、安全設備に関する事項など。

横浜運輸区分会

申31号として全15項目を申し入れ。乗務行路の改善や指示業務に関すること、山手線との並走区間のダイヤの調整に関する事項など。

相模原運輸区分会

申32号として全28項目を申し入れ。乗務行路の改善や、列車ダイヤ、ホームドア工事や安全設備に関する事項など。

大船運輸区分会

申33号として全28項目を申し入れ。乗務行路の改善と特に東京駅の乗継ぎに関する事項など。

茅ヶ崎運輸区分会

申34号として全8項目を申し入れ。ワンマン運転に関わる課題や、単線である相模線の特情による列車ダイヤ設定に関する事項など。

国府津運輸区分会

申35号として全31項目を申し入れ。乗務行路と列車ダイヤの改善や、車両設備・構内設備・休養室設備に関する事項など。

熱海運輸区分会

申36号として全14項目を申し入れ。乗務行路の改善や、列車ダイヤの調整に関する事項など。

営業職場

申37号として、尻手駅・逗子駅・戸塚駅・国府津駅から計5項目を申し入れ。接続・不接続の明確化や、遅延が発生しやすい列車のダイヤ調整に関する事項など。

現場の声をもとに、ダイヤ改正の検証議論を行っていきます！